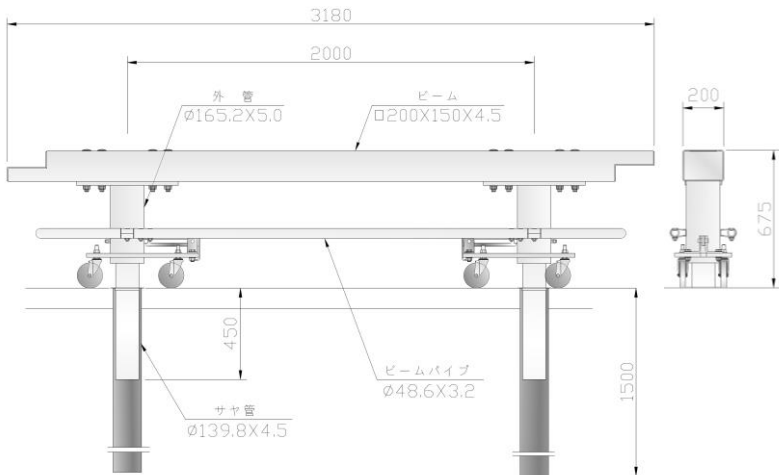


計画開口部用ボックスビーム

歩行者天国等のイベント時に道路を開放できる可動式防護柵



形状



従来製品(非可動式例)



サヤ管式防護柵の着脱には重機が必要。



開口部を設けるのに時間を要する他、重機等大掛かりな設備が必要。

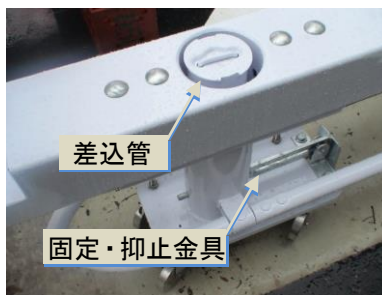
特長

● キャスターを採用

キャスター（車輪）を使用することにより、人力で移動させることが可能です。

● サヤ管式により防護柵を定着

路面に収納されている差込管を引上げることで防護柵側と定着させる方式です。解放する場合は、差込管をサヤ管に落込み、人力で防護柵を移動させることが可能です。



固定・移動抑止金具を引抜き、差込管をサヤ管に落込むことで、キャスターにより移動が可能な形状になっています。

設置事例



名古屋市中区 大津通（白川通大津交差点付近）



道路開放時、中央植栽帯への移動状況